

## 美術館で夏休みを過ごそう！—現代日本画ワンダーランド

会 期 2007年6月30日(土)～8月26日(日)

現代の日本画は、ひとくくりに“日本画”と呼べない多様性があります。作家が追い求める表現世界と手法は千差万別ですが、日本画の歴史や伝統、多くの巨匠たちが遺した作品と向きあい、あるときは反発しながら、岩絵具や箔、墨など古くからある素材によって表現に新たな可能性を見つけようとする作品には、エネルギーにみちた緊張感と清新な魅力があります。本展覧会では、こうした現代日本画の世界を子どもから大人まで広く楽しんでもらうべく、動物や自然を題材として独自の視点と表現による創作活動を行なっている磯部光太郎、岡村桂三郎、神戸智行、塩崎 顕、角田信四郎ら5人の中堅・若手作家をとりあげます。

夏休みは、大人にも子どもにとっても、新たな体験や発見をする楽しい時間です。この夏のひととき、生きものや自然を描いた作品を見ながら、作家のものの見方、豊かな感性や個性と、絵を見る楽しさを味わってもらいたいと思います。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日

会期中の休館日：7/2・9・17・23・30、8/6・13・20

観 覧 料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)、中小生：200円(150円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 毎週土曜日、小中学生は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

### 関連事業

- ワークショップ「身近な生きものを描く」 日本画家・磯部光太郎 7/22 14:00～
- ワークショップ「好きなモノを描く」 日本画家・神戸智行 8/4 14:00～
- ワークショップ「言葉のなかに登場する生きものを描く」 日本画家・塩崎 顕 8/18 14:00～
- 学芸員による作品解説会 6/30、7/14、8/25 14:00～